

[WG名]

# 食品製造販売業界向けAI需要予測普及チーム

[補助事業名]

需要予測システムを導入してフードロス削減に効果があるかを  
実証検証する

[幹事企業名]

株式会社 デリカサイト

[WGメンバー]

株式会社 槌谷

株式会社 ミライコミュニケーションネットワーク

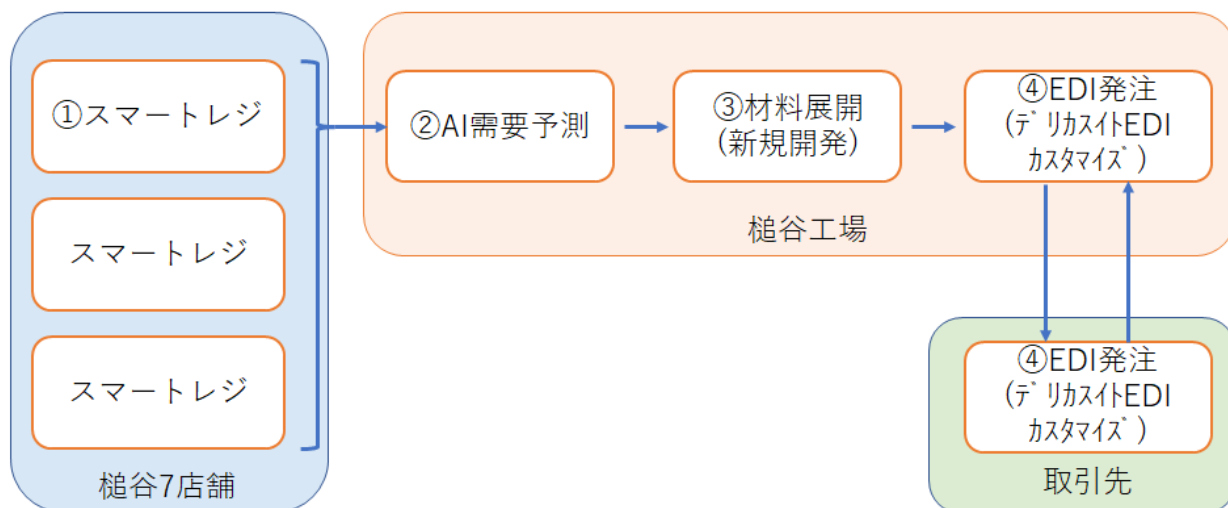
株式会社 烏骨鶏本舗

## 01 事業概要

スマートレジとデータ連携し、既に飲食店にて実績があるAI需要予測モデルを食品製造販売業の槌谷にて効果が得られるようにカスタマイズをおこない、そのうえ予測に効果的な学習データを模索してフードロス削減と業務の効率化が想定通り達成されるかを実証検証する。またAI需要予測の有用性を示し業界への普及をめざす。

## 02 実施内容

- AI需要予測システムと連携可能な「スマートレジ」を導入する。
- 「スマートレジ」とAPI連携する直近販売データ、過去販売実績データ、SNSなどのビッグデータを学習データとし、45日先までの商品ごとの販売数予測データを出力する。
- AI需要予測システムとデータ連携する「必要材料数算出」システムを構築し取引先ごとの材料発注データを生成する。
- 発注データを投入できるようにデリカサイトWebEDIシステムを改修する。



## 03 検証項目とその結果

### 1. 業務効率化による削減効果

業務名	サイクル	現状		導入後		削減時間	削減率
		分	年間	分	年間		
<b>①スマートレジ</b>							
販売数入力作業	日	30	1,260時間	0	0	1,260時間	100%
売上日報記入作業	日	15	630時間	0	0	630時間	100%
販売数集計作業	週	30	175時間	0	0	175時間	100%
<b>②AI需要予測システム</b>							
過去販売データ集計	週	30	25時間	0	0	25時間	100%
需要予測作業	週	60	50時間	0	0	50時間	100%
<b>③必要材料数算出</b>							
必要材料算出作業	週	60	50時間	0	0	50時間	100%
<b>④WebEDIシステム</b>							
発注業務	日	60	330時間	25	138時間	165時間	50%
<b>合計</b>			<b>2,520時間</b>		<b>138時間</b>	<b>2,382時間</b>	<b>94%</b>

当該業務を年間2,382時間、448万円、94%削減の効果を見込む

### 2. フードロス削減効果

予測精度	現状		導入後		廃棄金額削減
	廃棄率	廃棄金額	予測精度	廃棄率	
72.2%	10.8%	46,117,281	88.2%	4.58%	19,574,961
					16,542,320

年間1,654万円のフードロス削減効果を見込む

## 04 今後の展開

本事業にて株式会社槌谷からスモールスタートした実証検証の結果、想定した成果が達成されたため、株式会社デリカサイトのグループ会社においても「AI需要予測システム」を導入し、その業務効率化とフードロス削減効果を同業他社に示し、食品製造業界全体へ「AI需要予測システム」の普及をはかる。